

注目の新規事業

平成26年度

予算決まる

3月
定例会

福祉・子育て世帯 給付金



1億4,691万円

消費税が5%から8%へと引き上げられたため、給付金を支給して低所得者や子育て家庭への影響緩和を図ります。

町民プール跡地整備(設計)

1,412万円

廃止が決定した町民プールの跡地整備の設計を行います。

阿閉漁港緑地整備

8,503万円

軽スポーツや健康づくり、地域行事など幅広い活用ができる緑地を整備します。

南小校舎増築(設計)

990万円

平成27年度以降の児童数増加に対応するため、設計を行います。

本人通知制度

525万円

事前に登録された方に、住民票の写しや戸籍謄本などを第三者に交付した旨の通知を行い、不正請求の早期発見や抑止を図ります。

コンビニ収納

485万円

平成27年度からコンビニでも町税の納付ができるようにシステムの導入を行います。

公共交通アンケート



604万円

交通弱者の「足の確保」について住民アンケートを実施し、その結果を踏まえて播磨町地域公共交通会議で今後のあり方を検討します。

新年度当初予算7件の議案は3月4日に、前年度より11億4320万円増の197億9540万円が提案されました。予算7件は、予算特別委員会に付託され、慎重に審査が行われました。中でも、一般会計の地域公共交通環境調査検討業務と町民プール跡地整備が大きな争点となりました。

地域公共交通環境調査検討業務では、以前に提案のあったコミュニティバス導入調査との違いやアンケート調査の手法などで、また町民プール跡地整備では、住民が参加する検討委員会でもめられた町民プール整備方針に対して、多くの質疑が行われました。

その結果、5名の委員から地域公共交通環境調査検討業務と町民プール跡地整備についてを削除する修正案が提出され、修正案を賛成多数で否決した後、原案を賛成多数で可決しました。本会議では予算特別委員会の審査結果を報告し、全会計予算を原案どおり可決しました。

予算 公共交通環境調査など活発な質疑

3月定例会は、3月4日から20日までの17日間の会期で開かれました。平成26年度一般会計など7会計の当初予算は、予算特別委員会を設置して5日間の集中審査を行いました。その結果、委員会、本会議とも原案通り可決しました。このほか初日には、人権擁護委員の同意や、平成25

年度各会計の補正予算などを審議しました。また、最終日まで条例の改正など19議案を審議し、すべて原案通り可決しました。(12ページ参照) なお、一般質問は11日に行われ、会派を代表して、議員4人が新年度施政方針をたえました。

討論

予算委員会

■原案に賛成

▼町内の交通網の整備は、高齢者社会へと移行する今必要不可欠で、広く町民の意見を聞くアンケートは有効である。

▼町民プールは老朽化や再開に多額の補修費が必要で、取り壊しは仕方ない。

本会議

■原案に賛成

▼高齢化率や町の状況も変化している中で、交通弱者の足の確保について地域公共交通環境調査検討業務は評価できる。

▼小中学校の改修や増築、人間ドック健康診査への助成など、住民福祉を増進させる大切な施策が盛り込まれている。

■修正案に賛成

▼住民アンケートは町政モニター制度を利用すべき。コンサルタントに丸投げは安易な取り組みだ。

▼アンケート調査に約600万円もの外部委託料はもったいない。町民プール跡地整備計画は撤去も含め総合体育館との二重投資である。